

## 『機械の研究』 寄稿規定（原稿の書き方）

## 1. 弊誌の体裁と原稿

- (1) 1 ページあたり約 1900 字です。本文を段組みにせず、図表は、本文原稿とは別に、1 図 1 葉、1 表 1 葉にてご提示下さい。図表は、各 4 枚でそれぞれ組上がり約 1 頁相当です。
- (2) 原稿は、電子メールの添付ファイルにてお送り下さい。もちろん、郵送によるご寄稿も可能です。
- (3) 頂いた原稿データをもとに弊社にて組み直します。図・表のキャプションおよび表の中身のデータも必ずご提示下さい。  
エクセル、パワーポイントなどで図表を作成されたときは、そのデータもお送りください。
- (4) 著者名と併せて所属および職名（肩書）もお知らせ下さい。共著者の場合も同様です。
- (5) 一報ごとに必ず「はじめに」と「終わりに」を入れてください。

## 2. 用字と用語

- (1) 文体は簡潔な口語体とし、漢字は常用漢字を用いて下さい。
- (2) 文体は、「だ」「である」（常体）を使用して下さい。
- (3) 弊誌編集部にて、副詞・接続詞・代名詞・助詞など、あるいは漢字・ひら仮名・送り仮名などの用字の統一をさせていただきます。あらかじめご了承ください。
- (4) 単位は、極力 SI 単位を用いて下さい。

## 3. 数式

- (1) 弊誌は、2 段組ですので長い数式は、極力避けて下さい。
- (2) 本文中に数式を入れる場合は、 $(a+b)/(c+d)$  のように 1 行に収まる記法を用いて下さい。
- (3) 二重の添字は避けて下さい。
- (4) 数式につける番号は、(1)、(2)、(3) ……のように一貫番号として下さい。

## 4. 図（写真）および表

- (1) 図・表中の文字は、すべて日本語にて記述して下さい。
- (2) 線図は、トレースの必要のない鮮明なものを提示して下さい。
- (3) 写真は、必ず JPEG 形式などのデータをご提示して下さい。
- (4) 図・表の番号は、それぞれ図 1、表 1 のように記述し、各々キャプションをつけて下さい。

## 5. 区分けと見出し

本文の見出しの区分けは、章、節、項をそれぞれ 1、2、3… 1.1、1.2、1.3…

- (1)、(2)、(3)…で表記して下さい。それ以上の深い区分けは避けていただけますようお願いいたします。

## 6. 文献

- (1) 引用する文献は、上付きの添字<sup>1)</sup> または<sup>1),2)</sup> あるいは<sup>1)~3)</sup> のように記し、本文の末尾に列挙して下さい。
- (2) 文献の書き方は、次の形式によって下さい。  
[書籍の場合]： 番号) 著者名：書名、出版社（発行年；西暦） ページ。  
[雑誌の場合]： 番号) 著者名：タイトル、雑誌名、巻数、号数（発行年；西暦） ページ。  
注) 著者名は、フル・ネームでお書き下さい。

## 7. その他

- (1) 著者校正は 1 回のみとさせていただきます。なお、その際、大幅な加筆訂正はご遠慮下さい。
- (2) 掲載のものに対しては、些少ですが原稿料をお支払い致します。
- (3) 掲載号を 1 部贈呈申し上げます。なお、別刷りは 50 部を実費にて承ります（ただし、原則として 50 部に限らせて頂きます）。
- (4) 印刷上の誤りの訂正は、正誤を記してお申し越し頂ければ適宜掲載させていただきます。
- (5) 本誌の無断複写は、著作権法上の例外を除き禁じられております。つきましては、弊社では本誌の複写に関する管理を〔(一社) 出版者著作権管理機構〕に委託しております。その旨ご了承ください。
- (6) 玉稿を、紙媒体と同様に電子的に利用すること（電子出版）を許諾頂きたく存じます。
- (7) 第三者からの少数の図表ならびに小部分の本文の引用転載申請に対して、その許諾の判断を弊社に委ねて頂きたく存じます。